

「十日町市こども計画（案）」に寄せられたパブリックコメントの実施結果について

市民福祉部 子育て支援課

十日町市では、「十日町市地域公共交通計画（案）」の策定にあたり、令和6年12月23日に計画案を公表し、パブリックコメントを実施しました。実施結果と本市の考え方をまとめましたので、公表いたします。

貴重なご意見・ご提案をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

1 パブリックコメントの概要

案件名	十日町市こども計画（案）
意見募集の期間	令和6年12月23日から令和7年1月10日まで
広報方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ掲載 ・子育て支援課、各支所地域振興課、各公民館、情報館、児童センターめぐらんど、地域子育て支援センターくるるにて資料配布

2 パブリックコメントの実施結果

意見提出者数及び意見数	4人 9件
提出方法	郵送、メール、持参

3 いただいたご意見の内容（要旨）と市の考え方

ご意見の要旨	市の考え方
<p>本計画の基本理念「安心してこどもを産み育てられるまち」とあるが、肝心の「安心してこどもを産む」環境が当市にないのではないか。</p> <p>市がこの現状をどのように考え、支援していくのか、計画に記載を願いたい。</p>	<p>安心して出産、子育てができる環境づくりに取り組み、周産期医療を守っていく必要があります。</p> <p>計画では、P43「妊婦期の支援」に記載のとおり、安心して妊娠・出産ができる支援と周産期医療体制の維持に努めていきます。</p>
<p>ファミリー・サポート・センターについて、地域によって提供会員数の偏りがあり、子育て世帯に情報があまり明らかになっておらず、制度は知っていても利用できていない。地域全体の会員数を増やすための工夫や子育て支援センターで申請できる、提供会員と気軽に会える仕組みがあるといい。計画の「地域社会の役割」にシルバー人材センター等の協力、推進の方針をしっかりと明記して強化してほしい。</p>	<p>これまで市内の郵便局や地域の民生児童委員の会議等で、事業の概要や提供会員の募集、周知をしています。今後は、SNSなど多様な媒体を用いて情報発信を行い、会員数の増加等に努めます。</p> <p>計画では、P52「地域と関係機関による連携」に記載のとおり、子育てのためのファミリー・サポート・センターの運営を推進していきます。</p>

<p>施策⑧不登校児童生徒への取組として、「学校復帰」がひとつの目標になっている点が気になる。学びの場が多様化している現代において、子ども達に多様なまなびの機会や選択肢を示すことができる地域であってほしい。魅力ある学校づくりと、そこになじめない、または山間地に住んでいることが不利にならないような、様々な学びの場を検討し、子育て世代の声を取り入れて模索していくような希望を持てる計画になると素敵だと思う。</p>	<p>学校教育においては、「全ての児童生徒が豊かな学校生活を送り、安心して教育を受けられる」ことが重要と考えています。</p> <p>また、計画 P46 記載の校内教育支援センターの設置のほか、個別最適な学びの実現に向けて、一人 1 台端末を活用したデジタルドリルでの学習支援や I C T機器を活用したオンライン授業の実施など、学校以外で実施する多様な学習活動の充実に努めます。</p>
<p>多様な子ども達と日々関わる全ての保育士や教職員が等しく研修や講座を受けられる体制にしてほしい。また、その研修で学んだことを共有し、“保育園や学校全体で支援する”という体制が必要だと思う。</p>	<p>計画 P41 に記載のとおり、研修会等は教職員のスキルアップを図るうえで重要であり、全員が受講できる体制に努めます。</p>
<p>ファミリー・サポート・センターについて、保護者アンケート結果では利用希望者が多いが、提供会員が少ないと聞いた。地域ごとの実情に沿った柔軟な対応や、提供会員を増やす努力がもっと必要と考える。</p>	<p>これまで市内の郵便局や地域の民生児童委員の会議等で、事業の概要や提供会員の募集や周知しています。今後は、SMS など多様な媒体を用いて情報発信を行い、会員数の増加等に努めます。</p> <p>計画では、P 52 に「地域と関係機関による連携」として記載のとおり、子育てのためのファミリー・サポート・センターの運営を推進していきます。</p>
<p>1・2歳児の保育料を無償化してほしい。</p> <p>1歳からの入園が不可欠である。入園直後は、病気にかかりやすく休むことが多く、仕事を休みがちになるにもかかわらず、保育料満額を支払わなければならない。その間の食事や看病にもお金や労力を使う。</p>	<p>これまで保育料の軽減をはじめとする子育て家庭への支援に取り組んできました。今のところ未満児の保育料無償化をする予定はありませんが、今後も国の動向をみながら、各種施策に取り組んでいきます。</p>
<p>18歳までの医療費無償化を希望する。</p>	<p>これまで保育料の軽減をはじめとする子育て家庭への支援に取り組んできました。今のところ子ども医療費の完全無償化をする予定はありませんが、引き続き、各種施策に取り組んでいきます。</p>
<p>児童扶養手当以外の金銭的援助をしてほしい。</p> <p>児童手当や地域子育て応援カード事業以外の子育てに関する手当が少ない。冬の季節は灯油のクーポンを配布するなど、この地域ならではの支援がある。</p>	<p>これまで物価高騰等の影響を受けやすい子育て世帯の生活を支援するために給付金等の支給をしてきました。引き続き、子育て支援の各種施策に取り組んでいきます。</p>

めぐらんの出入口が開閉するたびに外気が入り込み寒い。大型遊具や運動場に冷暖房機器がなく、夏は暑く冬は極寒である。子どもが体調不良にならないよう考慮願う。	現在の設備の中で利用者の体調等に十分配慮しながら、必要な対策を行います。
--	--------------------------------------

4 結果公表場所

市ホームページ、子育て支援課、各支所地域振興課、各公民館、情報館、児童センターめぐらんど、地域子育て支援センターくるる